

平成29年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

⑩課題:道東の早生小豆栽培地域における生産安定性の向上(28~30年度)

代表者:北見農業試験場研究部 主査(畑作園芸) 萩原 誠司

目的

道東での早生小豆品種の栽培をより安定多収化させるため、①オホーツク地域における適正栽植密度指針を確立するとともに、②十勝中央部における秋まき小麦前作物としての安定栽培法を検討する。

成果

①オホーツク地域における適正栽植密度指針の確立

- ・密植による増収効果は、「ちはやひめ」で認められたが、「きたろまん」では判然としなかった。
- ・なお、「ちはやひめ」は「きたろまん」と比較して、成熟期が早く倒伏も少ない傾向がみられた。

②十勝中央部における秋まき小麦前作物としての安定栽培法

- ・「ちはやひめ」の密植栽培では、増収効果はあまり見られないものの、成熟期が2日程度早くなることから、秋まき小麦の前作として有効なことが判明した。

③実証試験(現地慣行)の結果

- ・十勝中央部では、「ちはやひめ」1.3倍密植は、現地慣行品種(標準密度)と比較して1割多収となった。

北見農試栽培試験成績

品種名	栽植密度 (本/10a)	成熟期 (月.日)	生育日数	倒伏程度	子実重 (kg/10a)	標植対比 (%)	百粒重 (g)
ちはやひめ	16,667	9.28	132	0.8	346	100	16.4
	22,222	9.27	131	1.0	366	106	15.8
	25,063	9.26	130	1.0	361	104	15.9
	33,333	9.25	129	1.0	383	111	16.1
きたろまん	16,667	10.02	136	2.3	331	100	16.2
	22,222	10.02	136	2.7	330	100	17.2
	25,063	10.01	135	2.3	336	101	16.7
	33,333	10.01	135	3.0	341	103	17.2
サホロショウス	16,667	9.30	134	3.3	330	100	16.9

注1)生育日数:播種から成熟までの日数。

注2)倒伏程度:0(無)、0.5(微)、1(少)、2(中)、3(多)、4(甚)。

十勝農試栽培試験成績

品種名	処理 (播種期-密度)	栽植密度 (本/10a)	播種期 (月.日)	成熟期	生育日数	子実重 (kg/10a)	標植対比 (%)	百粒重 (g)
ちはやひめ	標-標	16,667	5.24	9.16	115	385	100	16.1
	標-密	25,063		9.14	113	379	98	15.7
	晩-標	16,667	6.07	9.23	108	437	114	16.5
	晩-密	25,063		9.21	106	398	103	16.6
	極晩-標	16,667	6.21	10.06	107	348	90	19.7
きたろまん	標-標	16,667	5.24	9.19	118	367	100	15.7
	標-密	25,063		9.19	118	387	105	16.4
	晩-標	16,667	6.07	9.26	111	412	112	17.2
	晩-密	25,063		9.24	109	440	120	16.8
	極晩-標	16,667	6.21	10.07	108	351	96	19.1

注1)生育日数:播種から成熟までの日数。

注2)倒伏程度:無(0)、微(0.5)、少(1)、中(2)、多(3)、甚(4)。